議 会 活 性 化 特 別 委 員 会 次 第

令 和 ８ 年 10 月 ９ 日
空き家対策特別委員会終了後開議
３ ０ １ 会 議 室

協 議 事 項

１	議会活性化特別委員会報告書について	資料１、２
２	議会改革に関する検討項目について	資料３
３	子育て世帯対象の議会報告会について	資料４、５
４	行政視察受入体制について	資料６

（案）

資料１

令和８年 10 月　　日

加賀市議会
　議長　山口　忠志　　様

議会活性化特別委員会
　委員長　中　川　敬　雄

議会活性化特別委員会のこれまでの取組結果と今後の取組方針について

議会活性化特別委員会では、令和７年10月の改選後、議会活性化の取組に関する協議及び検討を行ってまいりました。その間、中学生議会等を実施し、その結果等を議長に報告してきました。

この度、これまで本委員会で行ってきた内容や今後の委員会の取組方針について取りまとめましたので、報告いたします。

記

１　委員会の取組結果

別紙報告書のとおり。

２　今後の取組方針

(1)広報媒体の有効活用について

本委員会広報部会を中心に議会だよりのさらなる充実に努めることや、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ、ケーブルテレビなど、さまざまな広報媒体を連動させ、効果的な議会情報の発信について検討するとともに、議会広報の在り方について今後どうあるべきかも併せて検討していくこととする。

なお、議会だよりでは、表紙を使って市内小中学校の紹介を行っているが、令和９年８月号で市内の小中学校の紹介がすべて終わることから、それに代わる内容を検討するとともに、相手方の負担にならない取材方法についても検討していくこととする。

(2)議員間討議の実施について

常任委員会を中心に実施し、市政に関する重要な課題等について、議員間での討議を活発に行うことにより、論点を明確にし、更に議論を深めていただくとともに、必要に応じて政策提案等につなげていくこととする。

(3)意見交換会の積極的開催について

昨年度の申し送り事項を踏まえ、本年度は開催地区を市内中学校区を単位として６校区で行った。また、11月には子育て世帯を対象とした議会報告会を開催する予定としており、そのアンケ

ート結果やご意見・ご提案も参考にしながら、開催時期、開催単位、実施方法等の改善について検討していくこととする。

(4)若者や女性、会社員などの多様な人材の市議会への参画と活性化に関する検討について

近年、全国の地方議会において、議員の成り手不足が課題となっている。この問題の解決に多様な人材の市議会への参画を促す、対策が必要である。加賀市議会としては、加賀市議会政治倫理条例、加賀市議会委員会条例及び加賀市議会会議規則の改正を行ったが、引き続き、本委員会において具体策の検討を行っていくこととする。

(5)主権者教育に対する取組について

①　高校生との意見交換会の開催について

若者の市政及び議会への関心度を高める取組の一つとして、大聖寺実業高等学校との意見交換会を２月 18 日に開催した。生徒からは「加賀市の活性化」、「加賀市の防災対策」、「加賀市の福祉政策」をテーマに、たくさんの意見、提案があったことから、３月定例会での質問として取り上げた。

担当の先生からは、「この取組を通じて生徒たちは、自分たちで考えた提案が加賀市に届いていることを実感している。今後も継続してほしい。」との感想をいただいている。

本委員会としても、引き続き高校生への主権者教育として継続して取り組んでいくこととする。

⑤中学生議会の開催について

令和８年８月５日に主権者教育の一環として中学生議会を開催した。開催後のアンケートによる主な意見は次のとおり（抜粋）。

＜中学生議員＞

〇感想（記述式）

・通告書や議員の方との打ち合わせなど、準備の段階から貴重な体験をすることができてよかった。
・他の中学生議員の質問について加賀の未来についてとても興味深いものばかりであったので、自分たちでそのような未来を切り開けるようにしていきたい。

＜学校（６校）＞

〇感想（記述式）

・子どもたちの意見を直接伝えられる機会があるのは良い経験だと思う。
・生徒たちのいきいきとした顔が見られたことがとてもよく、意義のある会であった。

〇学校側の負担はどうであったか（選択式）

・大きい（４校）
・どちらかといえば大きい（１校）

・無回答（１校）

○今後の中学生議会開催についてどのように考えるか（選択式）
・中学生議会という形式にこだわらず、主権者教育として別の取組を検討するのがよい（３校）
・開催方法を見直したうえで、開催するのがよい（１校）
・休止又は廃止するのがよい（１校）
・無回答（１校）

○意見（記述式）
・よい取り組みであると思うが、一部の生徒しか関わらないため、主権者教育という形であれば、その取組方によっては、その他の多くの生徒も主権者教育について考える機会になると思う。
・もっと多くの生徒が議員の方々と現在の加賀市、将来の加賀市について、堅苦しくない雰囲気で語り合えることができれば理想的である。

＜教育委員会＞
・学校を代表するということは、少なからず教員による指導が入る。指導はしなくていいですというのは難しい。
・議会に参加し、質問して、答弁を聞く機会は中学生にとってはとても良い。しかし、一部の生徒だけの場になっていないか。
・主権者教育の取組として、学校への負担が小さい方法の検討をお願いしたい。

＜市議会議員＞
・学校の負担が大きいことは事前に理解をしていたが、当日の中学生たちの表情や姿を見て、貴重な経験の場であると感じた。

中学生議会を開催するにあたっては、議会から教育委員会、学校、中学生、そして市当局にご協力をお願いしている。開催後のアンケート結果を見ると、教育現場の負担が大きいという意見が多い。また、当局側には答弁書を作成していただくなど本会議と同じ負担をかけている。大きな負担をお願いしている取組であることを鑑みれば、アンケートで出された意見をくみ取ることは議会として必要である。

以上のことから、次年度以降については、中学生議会という形式にこだわらず、別の取組を視野に入れ、より有効性の高い主権者教育の検討をしていくこととする。

⑥本会議における生成ＡＩを活用した字幕、音訳を導入することの検討について

本会議において手話通訳を導入しているが、今後生成AIを活用した字幕、音

訳を導入することについて、引き続き検討していくこととする。

令和８年度金沢大学法科大学院インターンシップでは、議会における生成AI活用に係るルールなどについて取り組んでいただいたことを踏まえ、生成AIを活用した取組を検討していくこととする。

３　今後の議会活性化に関する取組について

前任期の委員会の申し送り事項を中心に、広報広聴の充実、開かれた議会の推進等、議会活性化の取組を進めてきた。

早稲田大学デモクラシー創造研究所の地域経営のための議会改革度調査においては、２０２２年は４位、２０２３年は５位、２０２４年は１０位であった。２０２５年は１５位と順位は下がったものの、比較的高い評価をいただいている。これは本市議会が、これまで議会活性化に取り組んできた積み重ねが評価されたものであり、引き続き、市民からも高い評価を得られるよう、議会活性化に向けた取組を続けて行くことが重要であると考える。

よって、引き続き、前述の今後の取組方針を踏まえ、加賀市議会基本条例に掲げた「開かれた議会」、「監視する議会」、「監視する議会」、「審議する議会」、「政策提案する議会」、「市民が参加する議会」の実現を目指し、加賀市議会の活性化に向けたより一層の取組を推進することとする。

議会活性化特別委員会　報告

資料２

１．委員構成

委員長：中川　敬雄
副委員長：荒谷　啓一
委　　員：植木　陽祐、髙橋　菜見子、福永　哲也、上野　清隆、若林　高、一色　眞一、南出　貞子、上田　朋和

※　南出委員、上田委員の任期は令和８年９月25日から

２．調査目的

議会改革、広報・広聴に関する調査研究

３．調査期間

令和７年10月30日～令和８年10月23日

４．委員会等開催状況

	委　員　会	行　政　視　察
令和７年	２回	１回
令和８年	10回	０回
合　計	12回	１回

５．協議事項件数

39件　（令和７年：６件、令和８年：33件）

６．行政視察

◆１月22日　東京都文京区議会

「ＡＩを活用したリアルタイム字幕表示について」

◆１月23日　一般社団法人Ｍａｎｉｋｅｎ

「自治体議会におけるＤＸの取組の現状と将来展望について」

７．主な取組事項

① 大聖寺実業高等学校との意見交換会

若者の市政及び議会への関心度を高める取組の一つとして、大聖寺実業高等学校との意見交換会を２月18日に開催した。生徒からは「加賀市の活性化」、「加賀市の防災対策」、「加賀市の福祉政策」をテーマに、たくさんの意見、提案があったことから、３月定例会での質問として取り上げた。

② 議会報告会「議会おでかけトーク」の実施





７月に市内６会場（中学校区単位）で開催した。当日は、４つのテーマを説明した後、テーブルごとに１つテーマを選んでいただき、グループトーク方式による意見交換を行った。グループトークは、各グループの議員が進行役を務めた。

参加者へのアンケートの結果では、グループトーク方式に対し「とても気軽に意見・考えを発言することができた」、「比較的気軽に意見・考えを発言することができた」と回答した方が９割を超えており、参加者からは活発なご意見・ご提案をいただくことができた。

今後は、アンケート結果、ご意見・ご提案などを参考にしながら、令和９年度の開催に向け、開催地区、実施方法など検討していく必要がある。

③ 中学生議会の開催





加賀市の未来を担う中学生に、議会や市政への理解と関心を高めてもらうとともに、市政に対する質問を発表する機会を提供し、中学生の視点からの意見を今後の市政運営に反映させていくことを目的として、８月５日に中学生議会を開催した。

当日、中学生議長の進行により、11人の中学生議員が市政やなどに対し、若い感性や視点から市当局に質問し、答弁をいただいた。

なお、実施後のアンケートによる主な意見は以下のとおりである。

○　中学生議員から

・通告書や議員の方との打ち合わせなど、準備の段階から貴重な体験をすることができてよかった。
・他の中学生議員の質問についても加賀の未来についてとても興味深いものばかりであったので、自分たちでそのような未来を切り拓けるようにしていきたい。

○　学校・教育委員会から

・開催にあたって学校、教員の負担が大きい。
・よい取組だと思うものの一部の生徒しか関わらないことから、他の多くの生徒も主権者教育について考えられる取組をしてはどうか。

また、この取組は、市当局に対しても答弁書の作成など本会議と同じ程度の負担をお願いしていることも忘れてはならない。

こうしたことから、アンケート結果も参考にしながら、次年度以降については、中学生議会という形式にこだわらず、別の取組も視野にいれて、より有効性の高い主権者教育について検討していくことが必要である。

④ 議会改革度調査2025ランキング全国15位

早稲田大学デモクラシー創造研究所が、毎年、全国の県市区町村議会へ議会改革に関するアンケート「地域経営のための議会改革度調査」を実施しており、地域経営のための議会改革度調査2025において、加賀市議会が全国15位という評価をいただいた。

調査項目に対する回答については、委員会で回答案について協議し、ランキング向上に資するさらなる議会改革の取組が実施できるかどうかについて検討した上で回答した。

８．調査の結果

本委員会では、この間、12回の会議を開き、議会活性化に向けた議論や調査を重ね、着実に実行してきた。

改選後、前任期の申し送り事項を踏まえて議論や調査を行い、また、市議会の活性化に係る取組を進めてきた。結果として、早稲田大学デモクラシー創造研究所の地域経営のための議会改革度調査においては、2022年には過去最高と並ぶ４位、2023年は５位、2024年は10位、2025年は15位という評価をいただくことができた。

これは、これまで議会活性化に取り組んできた積み重ねが全国的に評価されたものであり、引き続き、市民からも高い評価を得られるよう議会活性化に向けた取組を続けていくことが重要であると考える。

よって、10月以降においても、これまでの取組で得られた参加者からの感想、意見、提案を踏まえ、議会基本条例の趣旨に則り、加賀市議会の活性化に向けたより一層の取組を推進することとする。

議会改革に関する検討項目について

資料　3

令和８年10月９日　議会活性化特別委員会資料

議会改革に関する検討項目については、令和7年10月の改選後、議会活性化特別委員会で協議事項とした「今任期の取組として全議員から意見募集したもの」や協議事項となったものなど、多数の検討材料があり内容が重なるものもあることから整理、取捨選択し、優先度などを決める。なお、広報分野は、広報部会で別途協議する。

『検討事項の優先度の指標について』

Ａ：早急に検討すべき事項　　Ｂ：今任期中に検討すべき事項　　Ｃ：将来的に検討すべき事項　　Ｄ：検討不要

区分(分野)	番号	検討項目	内容等	優先度	結果	
今任期の取組として全議員から意見募集したもの	1	オンラインでの委員会開催を定例化	今後、幅広い年代層、性別、兼業をされている方も議員を目指すことが可能な議会を形成していくため、オンラインで開催できる会議はオンライン化を進めていく。	B	継続	今後も継続して検討していくこととする。
	2	市民の意識を高める	議会版デジタル目安箱を設置して、市民の議会への参画意識を高めるなど、「当事者意識」を醸成する取り組みを進める。	C	継続	今後も継続して検討していくこととする。
	3	市民と議会による政策ワークショップ	市民と議員、有識者または担当課（専門性の高い職員）を交えて協働する政策ワークショップを開催する。（地域経済分析システム（RESAS：リーサス）などを利活用）	C	継続	今後も継続して検討していくこととする。
	4	市民の声を広く集める工夫や幅広い年代にアプローチするツールが必要	現議員だけでは柔軟な発想は望めないので、中高生や若いお母さんたちが集うサークルとの意見交換の場を設ける。	A	継続	令和８年１１月に子育て世帯を対象とした議会報告会の開催を予定している。 開催後の結果を踏まえ、今後について検討していくこととする。
	5	若者や女性、会社員などの多様な人材の市議会への参画と活性化に関する検討	議員の成り手不足が課題となっており、問題解決には多様な人材の市議会への参画を促す対策が必要である。その検討を行う。	C	継続	今後も継続して検討していくこととする。
	6	議員間討議の実施	常任委員会を中心に実施し、市政に関する重要な課題について議員間での討議を活発に行う。	B	継続	今後も継続して検討していくこととする。

加賀市議会

資料４

「議会おでかけトーク」

～市民が参加する議会を目指して～





令和8年11月

本日の内容

議会基本条例に基づく加賀市議会の取り組みについて

①**審議**する議会

②**政策提案**する議会

③市民が参加する議会

④**開かれた**議会

議会基本条例とは？

議会及び議員活動の充実と活性化のために必要な基本的な事項等を定めることにより、議会が市民の負託に的確に応え、もって市民生活の向上に寄与するために策定





議会基本条例に基づく加賀市議会の取り組みについて

市民が参加する議会

各団体との意見交換会や今回のおでかけトークのような市民との意見交換の場を多様に設け、広く意見を聴くことができればと考えております。

本日のグループトークについて

グループトーク（30分）

4グループに分かれ、テーブルに議員1人ずつ配置
①トークしたいテーマのテーブルに着席。
②議員が進行役となり、テーマについて課題、改善策などの意見を付箋に書く。
③発表用のボードを使って意見をまとめる。
※配布した資料も参考に！

発表(15分)

各グループの議員が代表して発表。
各班**3～4分**以内。

質疑応答

発表された意見のほか、おでかけトーク全般についての質疑・応答。

令和８年度６月補正予算の全体概要

再生プロジェクト検討会からの答申や事業継続評価に基づき必要と判断した事業を計上しています。

再生プロジェクト検討会（令和7年12月～令和8年3月）

事業継続評価　（内部評価：令和7年12月
外部評価：令和8年4月）

- 加賀市の魅力の磨き上げ
- 「稼ぐ力」と「暮らしやすさ」の連動
- 施策の有機的連携
- 選択と集中

住民の幸せ

- 持続可能な財政運営
- 事業の優先順位の見極め
- 減少し続けている基金残高に留意
- 不断の事業見直し

６月補正予算

6月補正予算　～新「加賀市ビジョン」に向けて～

未来への活力となる『人づくり・まちづくり』を丁寧に整え、今ある暮らしの基盤である『安心・安全』を守ることで、原点である『住民の幸せ』を確かな形にしていきます。

もっと住民が幸せな加賀市へ

人づくり

- 創造的探究を支える環境整備事業
- デジタル人材育成事業
- 教育ビジョン推進事業
- 「地域枠」創設による加賀看護学校授業料無償化事業

まちづくり

- 未来型商業エリア周辺施設整備事業
- 新産業創出支援事業
- 加賀市農林水産業振興行動計画策定事業
- 高付加価値商品造成・販売事業
- 文化の更なる磨き上げ事業
- 多世代が輝き笑顔で安心して暮らせるまちづくり推進事業(空家利活用推進)

安心・安全

- 乗合タクシー運行事業(定期券導入)
- 災害時のトイレカー整備事業
- 導送水施設防災対策事業
- 消防救急デジタル無線設備更新事業

テーマ「住みよい街づくり」

1. 災害対策
2. にぎわいの創出
3. 子育て支援
4. 地域交通

災害対策

災害用備蓄品購入事業

継続！

事業の目的

石川県地震被害想定（令和７年５月）の避難所への避難者（約24,000人）が３日間過ごすために必要な物資を備蓄する。

※２日目分の購入。初日分は購入済み。
３日目分は今後備蓄予定。

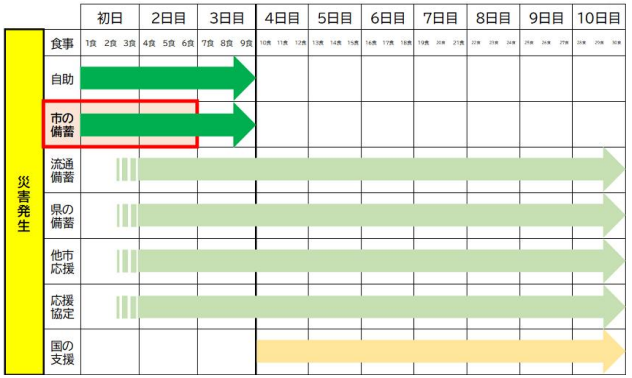
▶備蓄品



液体ミルク



アルファ米



トイレカー整備事業

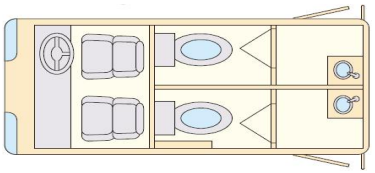
NEW!!

事業の目的

災害時の避難所における衛生的なトイレ環境を確保し、避難者の健康を守り、感染症等を起因とする災害関連死を防止する。

▶トイレカー





- 皆さんが考える住みよい街づくりのためになる防災対策とはどんなものでしょうか？



にぎわい創出

三温泉観光誘客助成事業

NEW!!

事業の目的

市が主体となって行うべき温泉地の魅力づくりや観光情報の発信を、三温泉地の観光団体が行うことに対し助成する。

・賑わいを創出するイベント等の開催
・観光情報の発信　　などが対象





未来型商業エリア周辺施設整備事業

継続！

事業の目的

加賀温泉駅周辺に民間開発を誘導することにより、市全体の活性化の原動力として市中心部に賑わいを創出する。



- 皆さんが考える住みよい街づくりのためになるにぎわいの創出とはどんなものでしょうか？



子育て支援

保育料完全無償化事業

継続！

事業の目的

保育料を無償化し、乳幼児期からの育ち・学びを保証し、子育て家庭が更に安心して出産、子育てできるよう経済的支援を行う。

▶R6年度以降

第1子以降 **無料**

（所得制限 なし）

産後ケア事業

継続！

事業の目的

退院直後の母子で産後に不安がある産婦に対して、助産師等が心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

教育ビジョン推進事業（教育）

継続！

事業の目的

これまで「BE THE PLAYER」をスローガンに教育改革を進めてきた。今後も引き続き行う。

- 皆さんが考える住みよい街づくりのためになる子育て支援とはどんなものでしょうか？



地域交通

乗合タクシー運行事業(定期券導入)

継続

事業の目的

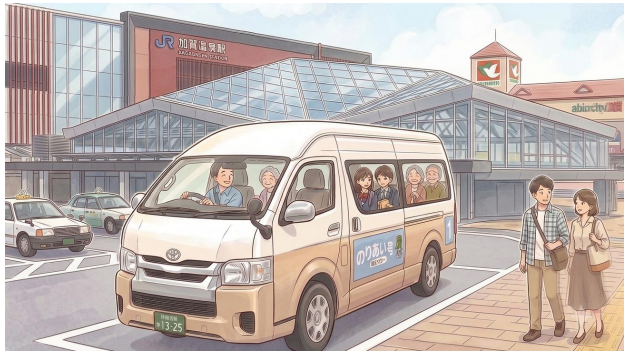
高齢者や高校生をはじめとした自家用車を利用できない人の日常生活における移動手段を確保することを目的とする。

これまでの結果

令和７年６月から令和８年１月にかけて実施した定期券実証運行の結果、定額制の導入が乗合タクシー利用者の増加につながり、高齢者の外出機会の創出などに寄与することが確認された。

事業の内容

利用増に伴うピーク時の対応が求められること、加賀市再生プロジェクト検討会にて「乗合タクシー等の充実を図ること」と答申があったことから、定期券の本格導入と併せて、需要が集中する時間帯の車両を増車する。



- 皆さんが考える住みよい街づくりのためになる地域交通とはどんなものでしょうか？



引き続きグループトークに移ります！

テーブル毎に意見交換をお願いします！！

1. 災害対策
2. にぎわいの創出
3. 子育て支援
4. 地域交通



資料５

ア ン ケ ー ト 用 紙

令和８年度 議会報告会（11 月）

ご参加いただいたみなさまへ

本日はご参加いただきましてありがとうございます。

加賀市議会では、開かれた議会・市民が参加する議会を目指し、さまざまな議会改革に取り組んでいます。そこで、みなさまのご意見をお聞きし、今後さらに充実した議会としていきたいと思いますので、以下のアンケートへのご協力をお願いいたします。

１．性別をお聞きします。

□① 男性　　□② 女性　　□③非回答

２．年代をお聞きします。

□① １０代　　□② ２０代　　□③ ３０代　　□④ ４０代　　□⑤ ５０代

□⑥ ６０代以上

３．議会報告会「議会おでかけトーク」に参加してどう思いましたか？

□① 大変よかった　　□② まあまあよかった　　□③ あまりよくなかった

□④ よくなかった　　□⑤ その他（　　）

４．議会報告会「議会おでかけトーク」に参加しやすい日時についてお聞きします。

⑴ □① 平日　　□② 休日

⑵ □① 午前　　□② 午後　　□③ 夜間

５．参加者の皆様とより活発な意見交換の場となるようグループトーク方式を取り入れました。このことについておききします。

□① とても気軽に意見・考えを発言することができた

□② 比較的気軽に意見・考えを発言することができた

□③ 意見・考えを発言しにくかった

□④ 従来の方法のほうがよい

□⑤ その他（　　）

裏面に続きます。記入にご協力ください。

６．「議会だより」を読んだことがありますか？

□① 毎回読んでいる　　□② ときどき読んでいる

□③ あまり読んでいない　□④ 読んだことがない

７．市議会の情報を何から得ていますか？（複数回答可）

□① 議会だより　　□② ホームページ　□③ ユーチューブ

□④ フェイスブック、インスタグラム　　□⑤ 新聞　　□⑥ ケーブルテレビ

□⑥ その他（　　）　　□⑦ 情報を得ていない

こんにちは 議会です。 加賀市議会　YouTube　Find us on Facebook　Instagram

８．議会の様子を見たことがありますか。見たことがある人はどのような方法で見ましたか？

□① 見たことがない

□② 見たことがある　□(ｱ)議場で傍聴

□(ｲ)インターネットのライブ・録画中継

□(ｳ)ケーブルテレビ

９．議会活動について、期待することやご提案・ご意見などがありましたらご記入ください。

（　　）

ご協力ありがとうございました。

行政視察対応議員輪番表（案）

・１１月の議会活性化特別委員会の協議において、「１期目と２期目の議員で対応する」となった。
・議会運営委員会で協議結果を報告したところ、「視察受入時の質問によっては１期目、２期目の議員では回答がむずかしい内容もあるのではないか。」という意見があり、再度検討することとなったもの。
・正副委員長案（３期目の議員まで含めた輪番表）を示す。

⇒（令和８年１０月以降）
・令和８年９月定例会において、議会活性化特別委員会の定数を増やし、各会派の幹事長を加えることとなった。
・このため、「委員長」「会派幹事長」「2期議員」及び「1期議員」の輪番表の見直しを行う。

委員長(副議長)、会派幹事長、1期議員及び2期議員で編制

	委員長	会派幹事長	2期議員	1期議員	視察対応予定日
1	中川議員		若林議員	福永議員	2026/10/7
2		上田議員	荒谷議員	植木議員	2026/10/21
3	中川議員		一色議員	髙橋議員	2026/10/27
4		南出議員	上野議員	福永議員	2026/11/5
5	中川議員		若林議員	植木議員	2026/11/18
6		上田議員	荒谷議員	髙橋議員	
7	中川議員		一色議員	福永議員	
8		南出議員	上野議員	植木議員	
9	中川議員		若林議員	髙橋議員	
10		上田議員	荒谷議員	福永議員	